

製品名: HSP70 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12252**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	HSPA1L/HSPA1A HSPA1L; Heat shock 70 kDa protein 1-like; Heat shock 70 kDa protein 1L; Heat shock 70 kDa
別名	protein 1-Hom; HSP70-Hom; HSPA1A; HSPA1; HSPA1B; Heat shock 70 kDa protein 1A/1B; Heat shock 70 kDa protein 1/2; HSP70-1/HSP70-2; HSP70.1/HSP70.2
遺伝子 ID	3305/3303/3304
SwissProt ID	P34931/P08107
免疫原	抗血清はヒト HSPA1L 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 221-270

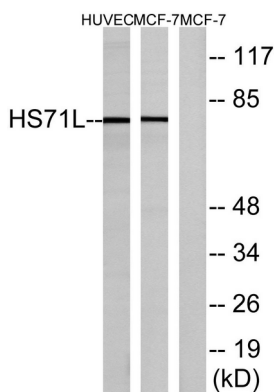
背景

この遺伝子は70kDaの熱ショックタンパク質をコードしています。他の熱ショックタンパク質と連携して、このタンパク質は既存のタンパク質の凝集を抑制し、細胞質および細胞小器官において新たに翻訳されたタンパク質のフォールディングを媒介します。この遺伝子は、主要組織適合遺伝子複合体クラス III 領域に位置し、70kDa熱ショックタンパク質のアイソフォームをコードする2つの密接に関連した遺伝子と同一のクラスターを形成しています。[RefSeq 提供、2008年7月],機能: Hsp70は他のシャペロンと連携して、既存のタンパク質の凝集を抑制し、細胞質および細胞小器官において新たに翻訳されたポリペプチドのフォールディングを媒介します。これらのシャペロンは、他のタンパク質の非ネイティブな構造を認識する能力を通じて、これらすべてのプロセスに関与しています。これらは、翻訳および膜移行中、またはストレス誘発性損傷後にポリペプチドによって露出された、正味の疎水性特性を持つ拡張ペプチドセグメントに結合します。誘導:熱ショックによって誘導されません。類似性:熱ショックタンパク質70ファミリーに属します。組織特異性:精子細胞で発現します。、

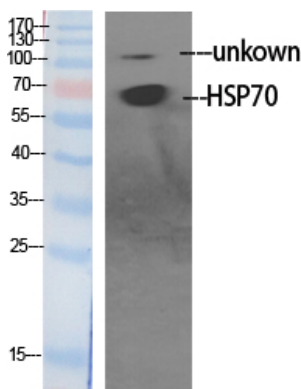
研究分野

スプライソソーム;MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;エンドサイトーシス;抗原の処理と提示;

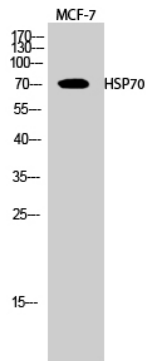
画像データ



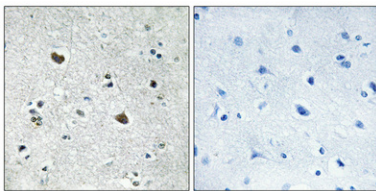
HS71L抗体を用いたMCF-7細胞およびHUVEC細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



HSP70ポリクローナル抗体を1:1000に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



HSP70 ポリクローナル抗体 (1: 1000 希釈) を用いた MCF-7 細胞のウェスタンブロット解析



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晩) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。